

学校評価の4点セット(抽出)において、達成指標に対する見取りや短期での取組指標の検証・改善の様子が「見える化」されている

1. 取組の内容

学校教育目標 【よりかしこく・よりなかく・よりたくましく】知・徳・体・パ ランスのとれた児童を育成する	検証(11月)				JKタイム:自分で考える時間 MKタイム:みんなで考える時間				検証(12月)				検証(1月)							
	教育目標実現		重点目標に係る 目指すべき子どもの 重点目標		達成指標を 達成する		重点的取組に係る具 体的な 取組指標		取組状況 C		改善策・修正事項等 A (※は支援学級)		取組状況 C		改善策・修正事項等 A (※は支援学級)		取組状況 C		改善策・修正事項等 A (※は支援学級)	
	重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	(4→1points) points		(4→1points) points		(4→1points) points		(4→1points) points		(4→1points) point		(4→1points) point		(4→1points) point		(4→1points) point	
<p>学校評価の4点セットの進捗表(2学期~3学期)から重点目標「進んで勉強する子」のうち学校の取組状況を抽出</p> <p>全職員で取組状況を週に1回セルフチェックをし、教務主任が統括していることで、取り組みの進捗状況を詳細に把握する。</p> <p>全職員による4段階評価の平均(変容)</p> <p>達成指標の見取りの状況</p>	<p>○中津市学力調査(12月)で、各学年の正答率を、目標値より10ポイント以上上回るようにする(単元末テストで目標値を超える児童を80%以上に)</p> <p>○問題解決的な授業で、自分の考えを書かせた上で、話し合いが深まる手だてを工夫する</p> <p>①問題解決的な授業で、自分の考えを書かせた上で、話し合いが深まる手だてを工夫する</p> <p>○聞く態度の育成を図る</p> <p>②授業中話している人の方を向く指導を1日1回以上した上で、聞けたかどうか週1回児童に振り返りの場を持つ。</p> <p>○家庭学習でめあてを持った「自学」を実施する</p> <p>③毎日、自学ノートに今日のめあてが書けているかを点検する</p>	<p>2.5</p> <p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>	<p>2.5</p> <p>3</p> <p>3.5</p> <p>3.5</p>		
		<p>改善内容 変容したこと 成果・課題</p> <p>更に焦点化された取組指標</p> <p>改善内容 変容したこと 成果・課題</p> <p>成果・課題に対する取組指標の更なる焦点化</p> <p>具体的な改善策</p>	<p>(12月の取組指標) 1日1回は、JK、MKタイムの前に思考類型カードを掲示する。</p> <p>(12月の取組指標) 1日1回、話を聞くルールを確認する</p> <p>(12月の取組指標) このごろ「めあて」「ふりかえり」が自学ノートに書けてない子どもが多いので、声かけをしていきたい お手本のノートを紹介できた 自学ノートコンテスト(自薦)を開く 参観日などで紹介する 期間を決めて紹介する 子ども、教師、保護者へ紹介していく</p> <p>(12月の取組指標) 毎日、自学ノートに今日のめあてが書けているかを点検する</p>	<p>(1月の取組指標) 1日1回は、JK、MKタイムの前に思考類型カードを掲示する(カードの内容・置き場の見直し)</p> <p>(1月の取組指標) 話している人を見て、ものを持たずに最後まで話を聞くを一日一回以上指導する</p> <p>(1月の取組指標) 必ずできている 目的をもって取り組めるように、指導している 紹介もできている</p> <p>検証・改善を繰り返しながら、達成指標に迫る焦点化した取組指標を設定し全職員で共通理解を図る</p>	<p>(2月の取組指標) 1日1回は、JK、MKタイムの前に思考類型カードを掲示する</p> <p>(2月の取組指標) 話している人を見て、ものを持たずに最後まで話を聞くを一日一回以上指導する</p> <p>(2月の取組指標) 授業中とともに、朝の会、帰りの会で先生の話を聞くときは、必ず一斉に注目させ、最後まで話を聞くようにさせるなかなかできない子どもができたときは、意識してほめるようにしている 鉛筆を置くことは徹底できているが、最後まで聞いているかどうかは疑問である 置かせるとともに、一斉に注目させることも大事である</p> <p>(2月の取組指標) 見本は有効であり、見本になると褒められ子どもは喜んでいて何を学ぶかの目的意識が薄れてきている</p> <p>(改)ホワイトボードを配布する (改)カードを作り直す</p> <p>(改)余計なものを持たせない (改)メリハリをつけた声かけをする</p> <p>(改)目的や内容を再確認していく</p>															
		<p>単元末テスト</p> <p>国語 算数</p> <p>1学期末 93% 84%</p> <p>2学期末 91% ▼78%</p>	<p>単元末テスト</p> <p>国語 算数</p> <p>1学期末 93% 84%</p> <p>2学期末 91% ▼78%</p>	<p>(12月の取組指標) 1日1回、話を聞くルールを確認する</p> <p>(1月の取組指標) 話している人を見て、ものを持たずに最後まで話を聞くを一日一回以上指導する</p> <p>(2月の取組指標) 話している人を見て、ものを持たずに最後まで話を聞くを一日一回以上指導する</p>	<p>(12月の取組指標) 1日1回、話を聞くルールを確認する</p> <p>(1月の取組指標) 話している人を見て、ものを持たずに最後まで話を聞くを一日一回以上指導する</p> <p>(2月の取組指標) 話している人を見て、ものを持たずに最後まで話を聞くを一日一回以上指導する</p>															

2. 取組についての評価等

- (1) 毎月、短期での客観的な評価に基づいて取組指標の検証・改善が行われている様子が明確である
- (2) 単元末テストのデータ等を活用しながら重点目標に迫る達成指標の見取りを学期ごとに行っている
- (3) 分掌会議等を通して成果・課題をふまえた持続発展的な達成指標に迫る次期の取組指標が設定されている
- (4) 好循環のPDCAサイクルが「見える化」されることで、全職員のミッションが明確で組織的な授業改善に向けた取組のベクトルがそろっている